

2023 年度 事業報告書

事業実施の方針

- ・「困った時はおたがいさま」の心で助け合い、助け合いの輪を地域に広げる
- ・一人一人の困難に向き合い、その人がその人らしく生活できるよう、心に寄り添う支援を行う
- ・世代を超えた人と人との絆を大切にし、互いに学び合い、支え合いながら、生きがいや自己の実現につなげる

2023 年度 目標

「チーム絆を意識して、ワクワクをみんなでつくろう」

一人一人が絆チームの顔として責任を持ち、まちづくりを一緒に楽しみましょう♪

2023 年度の取り組み・成果・残された課題

- ・新型コロナの影響がようやく軽減し、地域に日常が戻ってきたと実感することができた。特に居場所事業においては、様々な取り組みやコロナ前のイベント復活で、多くの方が足を運んでくださり、新たな関わりを築くことができた。
- ・訪問系事業・通所事業とも、ご利用者の施設入所による利用中止が多く、地域で暮らし続ける難しさを実感した。担い手不足や支援者の高齢化も進む中、絆に関わる一人ひとりができることを発揮し助け合いながら、住み慣れた町でその人らしく暮らし続けていける支援を継続していきたい。

2024 年度 事業計画書

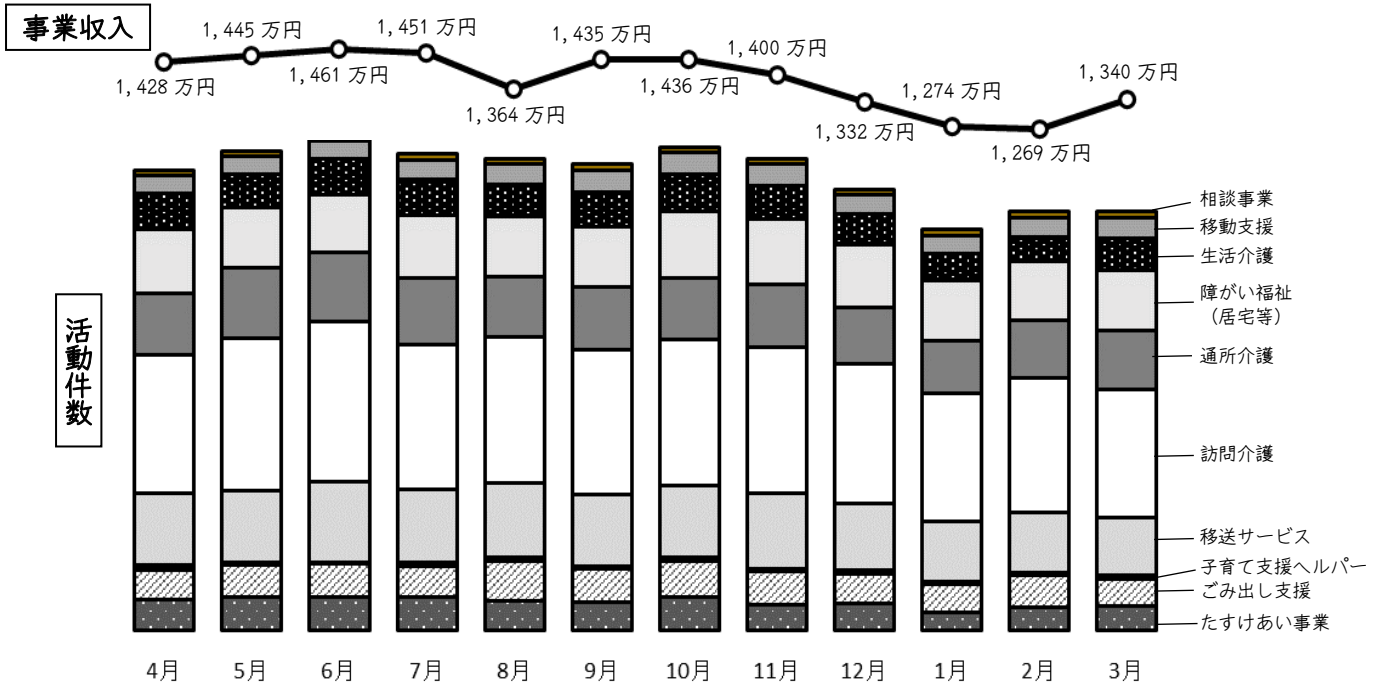
2024 年度 目標

「出会いとチャレンジを楽しみながら、

一人一人の可能性を広げよう !!」

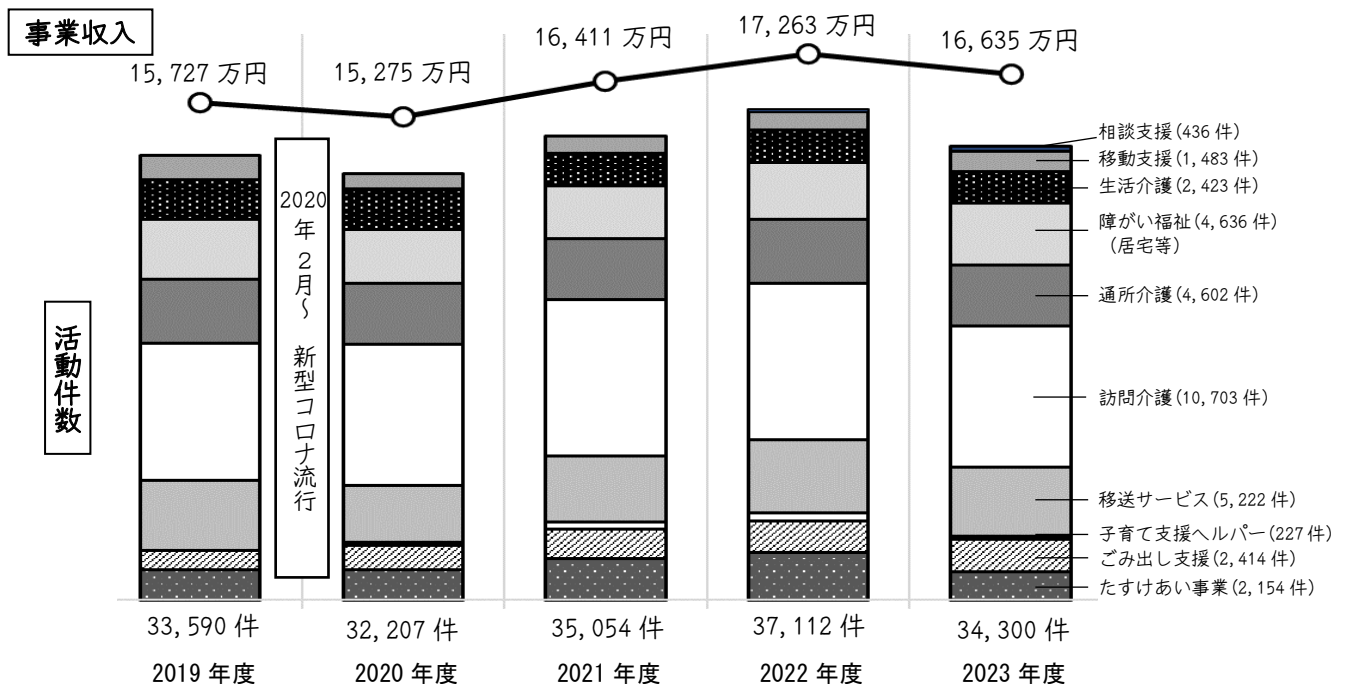
グラフでみる 2023年度

① 年間の活動件数と事業収入の推移（ふれあい事業・物品販売を除く）



ようやくコロナの影響を脱却し、年々実績を伸ばしてきていたが、2023年度はコロナ禍の水準に戻ってしまった。その要因として、①日常的に絆をご利用くださっていた方への施設入所やご逝去が9月以降に相次いだこと、②年末から2月初めにかけて、新型コロナ・インフルエンザ罹患および予防的キャンセルが多かったことなどが挙げられる。

② 5年間の活動件数と事業収入の推移（ふれあい事業・物品販売を除く）



I. 特定非営利活動に係る事業

たすけあい

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：在宅福祉サービスに関する事業

【実施場所】 東浦町及び近隣市町のご利用者宅 または 地域たすけあいセンター 絆

事業概要

現行の公的制度では対応ができない家事援助・身体介護・話し相手・子育て支援・代行などの在宅支援や、家で一人では心配な方などに、気軽に通える場の提供などを行う

事業報告

※()内は前年度比

【従事者人数】 絆会員 53 人(▲13 人) 【実施日】 通年随時 年間 2,133 件(▲1,497 件)

【受益者】 絆会員 114 人(▲23 人) 【事業収益】 3,833,248 円(▲4,018,696 円)



2023 年度 目標

困った時に頼れる事業所となれるよう、地域住民の方、関係機関の方々に「たすけあい」事業でできる事の具体例を示し、様々な活用術の提案を積極的に行う

活動内容・成果・残された課題

- ・介護保険や障がい福祉制度と併せた依頼が多く、関係機関のたすけあい事業への理解・周知が深まっているのを感じている
- ・在宅支援は減少したが、通院時の院内付添いの依頼は多くなっている
- ・長年絆をご利用くださった方のご逝去が相次ぎ、特に定期の支援が減少したため、収益減となった

事業計画

【従事者人数】 絆会員 60 人 【実施日】 通年随時 年間 2,500 件

【受益者】 絆会員 120 人

2024 年度 目標

制度ではできない部分（ハザマ）の支援を担うことができるよう、関係機関と連携しながら、柔軟な対応を心がけていく

移送サービス（福祉有償運送）

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：移送サービスに関する事業

【実施場所】 東浦町及び近隣市町のご利用者宅 または 病院、施設等

事業概要

通院や買い物、社会参加など、外出の際に公共交通機関を利用して出かけられない方へ、福祉有償運送サービスを行う

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】 絆会員 39 人(▲3 人)

【実施日】 通年随時 年間 5,222 件(▲267 件)

【受益者】 絆会員のご利用対象者 204 人(▲4 人)

【事業収益】 10,591,640 円(+459,380 円)

2023 年度 目標

担い手を増やしていくことで、通院等必要不可欠なニーズから、多種多様なニーズにも応える

活動内容・成果・残された課題

- ・通院のための移送を中心に、有償運送は継続してニーズが高く急な依頼にも可能な限り応えている。
- ・有資格者の増員および若年化を目指し、新たな人員確保に努める
- ・運転者のマナーに対する苦情を数件いただいた。定期的な研修の必要性を感じている



事業計画

【従事者人数】 絆会員 42 人 【実施日】 通年随時 年間 5,500 件

【受益者】 絆会員のご利用対象者 230 人

2024 年度 目標

定期的な講習会や意識啓発を実施し、乗車するご利用者からも地域住民の方からも信頼される運転を心がける。

訪問介護（ヘルパーステーション 絆）

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：介護保険法に基づく居宅サービス事業、第1号訪問事業
【実施場所】 東浦町及び近隣市町のご利用者宅

事業概要

その人がその人らしく暮らし続けるために、他機関と連携を図りながら、気持ちに寄り添った支援をチームで行う

事業報告

【従事者人数】 絆会員 46人(▲7人) 【実施日】 通年随時 年間 10,703件(▲1,110件)
【受益者】 東浦町及び近隣市町の方 181人(▲14人) 【事業収益】 39,283,348円(▲4,660,597円)

2023年度 目標

- 「小さなことも声をかけあい、協力！前進！」
- ・ご利用者の支援目標に向かって、小さなことでも伝え合い、連携・協力して質の高いサービスにつなげる
 - ・いくつになっても、苦手なことや新しいことへの挑戦ができる体制、雰囲気をつくりあげる



活動内容・成果・残された課題

- ・訪問記録の電子化（ICT化）は、活動者の協力により推進でき、ペーパーレス化が達成できた
- ・ICT化において、新しいことへの挑戦を一丸となって実行することができた
- ・感染症に対する情報収集や対策を維持し、まん延防止に努めることができた
- ・長年絆をご利用くださった方の施設入所やご逝去が相次ぎ、特に定期の支援が減少したため、収益減となった
- ・ICT化によって、活動者・ご利用者ともに生の声を聴くことをおろそかにせず、事例検討やモニタリングを計画的に進める

事業計画

【従事者人数】 絆会員 50人 【実施日】 通年随時 年間 11,500件
【受益者】 東浦町及び近隣市町の方 200人

2024年度 目標

- 『気づきや困り事は発信・相談～チームで関わり連携強化～』
『皆が仕事しやすい、落ち着いた職場環境に』
- ・チーム支援を実行していくため、事例検討会を定期開催できるよう計画を立てる
 - ・事務所内の環境整備、および話し声が大きくなり過ぎないように、注意し合える関係を築く

子育て支援ヘルパー（児童課委託）

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：在宅福祉サービスに関する事業

【実施場所】 東浦町 利用者宅 または 病院等

事業概要

妊婦または乳幼児のいる母親が、病気などで家事・育児が困難な際にヘルパーを派遣し、子育てを支援する

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】 絆会員 12人(▲11人)

【実施日】 通年随時 年間 227件(▲423件)

【受益者】 東浦町内ご利用対象者 12人(▲3人)

【事業収益】 970,200円(▲1,884,300円)

2023年度 目標

- ・ 支援者同士のコミュニケーションも密にし、統一したサポート体制を築く
- ・ 随時児童課とも情報共有し、支援終了後も安心して子育てができるよう橋渡し役となる

活動内容・成果・残された課題

- ・ 依頼（申請）件数が減っていることから、サービス周知方法や情報提供について児童課に確認した
- ・ 調理など家事支援を中心に依頼があった。利用した方からの紹介で利用につながったケースも目立った
- ・ 実際ご利用した方からは、喜びの声も多く聞かれ、産前産後支援の重要性を実感しており、サービスの周知が望まれる



事業計画

【従事者人数】 絆会員 15人 【実施日】 通年随時 年間 300件

【受益者】 東浦町内ご利用対象者 20人

2024年度 目標

- ・ 支援者同士のコミュニケーションを密にし、統一したサポート体制を築く
- ・ 随時児童課とも情報共有し、支援終了後も安心して子育てができるよう橋渡し役となる

障がい福祉（ヘルパーステーション 絆）

【事業名】特定非営利活動に係る事業：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

【実施場所】東浦町及び近隣市町の利用者宅

事業概要

その人がその人らしく暮らし続けるために、他機関と連携を図りながら、気持ちに寄り添った支援をチームで行う

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】絆会員 50 人(▲2 人)

【実施日】通年随時 年間 4,636 件(+293 件)

【受益者】東浦町及び近隣市町の方 38 人(▲1 人)

【事業収益】23,797,653 円(+1,015,021 円)

2023 年度 目標

「小さなことも声をかけあい、協力！前進！」

- ・ご利用者の支援目標に向かって、小さなことでも伝え合い、連携・協力して質の高いサービスにつなげる
- ・いくつになっても、苦手なことや新しいことへの挑戦ができる体制、雰囲気をつくりあげる



活動内容・成果・残された課題

- ・ICT化は活動者の協力により推進でき、ペーパーレス化が達成できた
- ・実地指導があり、指導に基づいて書類の整備や改善を行うことができた
- ・今後も定期的なモニタリングを実施し、記録することを徹底できるようにする
- ・重度訪問介護のご利用者で、複数の事業所が関わるの方の感染対策が十分にできず、従事者数人が感染症に罹患する事態が起こった
⇒今後の対応方法について支援者会議の開催および、絆内でも話し合う機会を設けた

事業計画

【従事者人数】絆会員 55 人 【実施日】通年随時 年間 4,500 件

【受益者】東浦町及び近隣市町の方 45 人

2024 年度 目標

『気づきや困り事は発信・相談～チームで関わり連携強化～』

『皆が仕事しやすい、落ち着いた職場環境に』

- ・チーム支援を実行していくため、事例検討会を定期開催できるよう計画を立てる
- ・事務所内の環境整備、および話し声が大きくなり過ぎないように、注意し合える関係を築く

移動支援（ヘルパーステーション 絆）

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業

【実施場所】 東浦町及び近隣市町の利用者宅 または 外出先

事業概要

ご利用者の意思を尊重し、気持ちに寄り添いながら、その人らしく過ごせる余暇支援を行う

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】 絆会員 51 人（▲6 人）

【実施日】 通年随時 年間 1,483 件（+176 件）

【受益者】 絆会員のご利用対象者 83 人（+1 人）

【事業収益】 12,324,012 円（+1,944,658 円）

2023 年度 目標

「小さなことでも声をかけ合い、協力！前進！」

- ・ 支援の経過やタイムリーな情報共有に努め、ご利用者が安心して、そして満足できる外出ができるようにする
- ・ 活動者が安心して活動できるよう、緊急時対応等の研修を実施していく



活動内容・成果・残された課題

- ・ コロナ禍が明けて依頼が増加した。できるだけ依頼や要望に応えられるよう、担い手の確保や支援方法の仕組みを考える必要がある
- ・ 移動支援に特化した緊急時対応の研修が実施できなかった
- ・ 移動支援の意義や各ご利用者の緊急時対応（災害や急な体調不良等）を確認していきたい

事業計画

【従事者人数】 絆会員 55 人 【実施日】 通年随時 年間 1,600 件

【受益者】 東浦町及び近隣市町の方 90 人

2024 年度 目標

『気づきや困り事は発信・相談～チームで関わり連携強化～』

- ・ 活動者が主体的に活動できるよう、情報の共有や事前の情報提供をしっかりと行う
- ・ 緊急時にも慌てず対応できるよう研修を実施していく
- ・ 今年度は地域の避難訓練にご利用者と参加するなど、実践的な訓練をしていきたい

ごみ出し支援（環境課委託）

【事業名】特定非営利活動に係る事業：在宅福祉サービスに関する事業

【実施場所】東浦町 ご利用者宅

事業概要

同一世帯で65才以上の方、もしくは避難行動要支援者名簿に登録されている方を対象に、1回50円で、燃えるごみをご自宅からごみステーションまで運び出す、ごみ出しの支援

事業報告

※()内は前年度比

【従事者人数】絆会員・ボランティア 16人(+2人)

【実施日】毎週火・木曜日 朝 年間 2,414件(+79件)

【受益者】東浦町内ご利用対象者 66人(+2人)

【事業収益】1,186,085円(+7,050円)

2023年度 目標

- ・ご利用者に満足していただける活動を円滑に素早くできるようにする
- ・身近な地域でのボランティア発掘を継続する

活動内容・成果・残された課題

- ・2023年度もケアマネージャーの紹介で利用を開始される方が多かった
- ・新規のご利用者も一定数あるが、ご逝去や施設入所のため中止される方もあり、受益者数はほぼ横ばいとなった
- ・新規従事者を十分に開拓できておらず、活動者さん一人一人の負担が増えているため、今後も状況を判断(確認)しながら割り当てなどを行っていききたい
- ・急な用事で活動出来なくなった際に、代替りの活動者をすぐ手配できるように「活動者緊急時対応マニュアル」を作成した



事業計画

【従事者人数】絆会員・ボランティア 18人 【実施日】毎週火・木曜日 朝 年間 2,500件

【受益者】東浦町内ご利用対象者 65人

2024年度 目標

- ・ご利用者に満足していただける活動を円滑に素早くできるようにする
- ・身近な地域でのボランティア発掘を継続する

通所介護（デイサービスセンター 絆）

【事業名】特定非営利活動に係る事業：介護保険法に基づく居宅サービス事業、第1号通所事業

【実施場所】地域たすけあいセンター 絆

事業概要

自己選択、自己決定の仕組みを大切に、ご利用者一人一人の意思を尊重し、生きがいのある楽しい1日になるよう支援を行う

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】絆会員 34 人（±0 人）

【実施日】月～金曜日 年間 4,602 件（▲206 件）

【受益者】東浦町及び近隣市町の方 65 人（+7 人）

【事業収益】41,358,119 円（▲1,584,167 円）

2023 年度 目標

チームで支え 感じて ワクワク 行動へ

活動内容・成果・残された課題

- ・ご利用者の自己選択メニューの幅を広げ、皆さんがやりたいことにチャレンジし、生き生きと楽しめる姿を見ることができた
- ・計画書の作成や他機関とのつながり、新メニューの開発等、スタッフが役割分担し、責任を持ちながら取り組むことができた
- ・初めて事例検討会をグループワークという形で開催し、スタッフ間の距離を縮めることができた。今後も、ぜひ継続していきたい
- ・新たなソフトウェアの導入で、仕事の負担が軽減された。その分、ご利用者との丁寧な関りやコミュニケーションを充実させたい
- ・入院からの施設入所等が続き、利用者数の減少が目立った。また、設備の関係で、入浴の希望に全部応えることが難しかった。入浴施設の早急な整備が望まれている



事業計画

【従事者人数】絆会員 35 人 【実施日】月～金曜日 年間 5,000 件

【受益者】東浦町及び近隣市町の方 60 人

2024 年度 目標

一人ひとりのチャレンジを 愉しみや喜びにつなげる

生活介護（さくさく工房 絆）

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

【実施場所】 地域たすけあいセンター 絆

事業概要

- ・日常的に介護を必要とする方に対して、日中活動を行う
- ・自己選択・自己決定を大切にし、ご利用者の気持ちに寄り添う支援を行う

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】 絆会員 27人(±0人)

【実施日】 月～金曜日 年間 2,423件(▲47件)

【受益者】 東浦町及び近隣市町の方 26人(▲2人)

【事業収益】 27,319,157円(▲11,445円)

2023年度 目標

チームさくさくで「わくわく」をあつめよう！！

活動内容・成果・残された課題

- ・皆が集まるおやつの前の時間を利用して、最近うれしかったこと、今日楽しかったこと、これからのことなど、わくわくしたことを発表してもらった時間を設けた
- ・皆の「わくわく」を1つずつ紙に書いてもらい、さくさくの部屋に貼っていき、1年間で378個集まった(右の写真)
- ・最初は「わくわく」をなかなか見つけることができなかつた方も、少しずつ見つけられるようになった
- ・今後は楽しいことばかりでなく、困り事や心配事もみんなで共有していきたい



事業計画

【従事者人数】 絆会員 27人 【実施日】 月～金曜日 年間 2,500件

【受益者】 東浦町及び近隣市町の方 30人

2024年度 目標

楽しみ、そして未来を話そう みんながあなたの応援団

相談支援（相談支援センター 絆）

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業・児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

【実施場所】 東浦町及び近隣市町のご利用者宅 及び 地域たすけあいセンター 絆

事業概要

日常生活全般の相談を受け、その人らしく生活が送れるよう「サービス利用計画書」等の作成を行う

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】 絆会員 4 人(±0 人)

【実施日】 月～金曜日 436 件(+169 件)

【受益者】 東浦町及び近隣市町の方 129 人(+81 人) 【事業収益】 5,689,896 円(+2,456,532 円)

2023 年度 目標

チームで“相談力”をアップする



活動内容・成果・残された課題

- ・相談支援専門員を増員し、新規を積極的に受け入れた
- ・町内相談支援体制の変化に伴い、他事業所からの移管を 40 件以上引き受けることができた
- ・業務効率化を目指し、タブレットやモバイルプリンターを導入した
- ・部署内や他事業所等との連携をどのように図るのが課題

事業計画

【従事者人数】 絆会員 5 人 【実施日】 月～金曜日 年間 500 件

【受益者】 東浦町及び近隣市町の方 150 人

2024 年度 目標

～その人らしさを発揮できる支援を～

チーム（きずな・支援者間）で相談！ 困りごと、課題を整理する力をつけよう

居場所事業

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：地域ふれあい事業

【実施場所】 さをり工房 あんきにきて家(さをり織り)

地域たすけあいセンター絆 風ハウス(コミュニティカフェ・お茶を楽しむ会)

事業概要

どなたでも利用できる居場所として、【さをり織り教室】【風喫茶】【お茶を楽しむ会】を定期開催し、絆を身近に感じてもらう

事業報告

※()内は前年度比

さをり織り教室

【従事者人数】 絆会員 2人(+1人)

【実施日】 火・木・土曜日 年間110日(+3日)

【受益者】 絆会員 延べ760人(+127人)

【事業収益】 940,253円(+121,393円)

コミュニティカフェ 風喫茶

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 9人(+1人)

【実施日】 第3金曜日 年間12日(+1日)

【受益者】 地域の方 延べ468人(+55人)

【事業収益】 93,360円(+13,560円)

お茶を楽しむ会

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 3人(+1人)

【実施日】 月1回 水曜日 年間12日(+2日)

【受益者】 地域の方 延べ428人(+95人)

【事業収益】 89,930円(+14,425円)

2023年度 目標

居場所を、新たな出会いの場所に♪

活動内容・成果・残された課題

【さをり織り】 作品展や日々の体験会等により、新たにさをり織りを楽しむ人を増やすことができた

【風喫茶】 お菓子づくりを引き受けてくださる新しいボランティアさんや、継続して風喫茶を担ってくださるボランティアさん達により、月に一度の楽しみな時間を設けることができた

【お茶を楽しむ会】 高齢のボランティアさんが元気に続けてくださることにより、日常とは違う雰囲気でも和菓子と抹茶を楽しむことができた

【風喫茶】 コロナ禍をきっかけに呼びかけを自粛していたが、地域の方にも気軽に参加していただけるよう、発信をしていきたい

事業計画

さをり織り教室

【従事者人数】 絆会員 1人

【実施日】 火・木・土曜日 年間 110日

【受益者】 絆会員 延べ 770人

コミュニティカフェ 風喫茶

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 10人

【実施日】 第3金曜日 年間 12日

【受益者】 地域の方 延べ 470人

お茶を楽しむ会

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 2人

【実施日】 月1回 水曜日 年間 12日

【受益者】 地域の方 延べ 430人

2024年度 目標

出会いをつなげる



風喫茶

毎月1回 風ハウスにて開催



さをり織り作品展 ~2023~

遊びどころ いっぱいの空間に



お茶会

毎月1回 風ハウスにて開催



福祉拠点普及促進コーディネーター事業(ふくし課委託)

【事業名】 特定非営利活動に係る事業：地域ふれあい事業

【実施場所】 地域たすけあいセンター 絆、地域の縁側 グリーン・ラソ、ラソプラザ等

事業概要

地域住民が担い手として活動する場の確保、人材育成、居場所に関する相談・研修・啓発・協議体への参加協力を行う

事業報告

※()内は前年度比

【従事者人数】 絆会員 4人(+2人)

【実施日】 通年随時

【受益者】 地域の方

【事業収益】 6,900,000円(±0円)

2023年度 目標

東浦町全体の居場所の発展を視野に入れた実践と、立ち上げの相談に力を入れる



活動内容・成果・残された課題

- ・他市町や町内の「居場所に関する相談」には、見学、相談、研修の依頼等に対応した
- ・「食を通した居場所のゆるい情報交換会」の皆さんとラインでつながり、情報交換が可能になった
- ・「第3回 居場所セミナー」を開催し、錦2丁目で活動する名畑恵氏より、新旧住民や子ども・若者も楽しめる居場所づくりの展開を伺い、今後の福祉拠点普及促進のヒントをいただくことができた
- ・「第3回 居場所セミナー」では、「食を通した居場所のゆるい情報交換会」の活動紹介を、それぞれの団体が作成したパネルで行うことができた。また、そのパネルを1カ月半、役場のロビーに展示してもらい、多くの人に見ていただくことができた
- ・休止していた「夜の居場所」を再開し、昼間ではつながれない住民との交流を図ることができた
- ・今後も多世代・多職種を巻き込んだワークショップは継続していきたい。特に若い人にも関わってもらえるような取り組みを考えていきたい

事業計画

【従事者人数】 絆会員 4人

【実施日】 通年随時

【受益者】 地域の方

2024年度 目標

今ある活動拠点の情報共有と、居場所の少ない地区へのアプローチ

常設居場所事業（地域の縁側 グリーン・ラソ）



【事業名】 特定非営利活動に係る事業：地域ふれあい事業

【実施場所】 地域の縁側 グリーン・ラソ

事業概要

0～100歳、どなたでも利用できる、自分らしく活躍できる居場所を提供するとともに、絆を知っていただく機会を設ける

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 162人(+50人)

【実施日】 月～金曜日 年間 279日(+42日)

【受益者】 地域の方 延べ 1,145人(+1,814人)

【事業収益】 3,105,846円(+738,541円)

2023年度 目標

- ・当番やシェフさん、講師等の人材確保
- ・コロナ禍で中止していた夜のイベントを、状況をみながら復活する

活動内容・成果・残された課題

- ・東浦町の生活応援クーポンや、東浦町グルメ提供店としてスタンプラリーに協力し、新たな来場者につながった
- ・囲碁・将棋・麻雀を楽しむ人が増え、大小様々ないざごども増えた。誰もが気持ちよく集えるよう、参加者と一緒に仕組みを考えていきたい
- ・約4年ぶりに、「夜カフェ」と「フォーク酒場」を再開することができた。地域の皆さんに周知し、楽しんでいただくことが今後の課題
- ・緒川コミュニティーで行う盆踊りや餅つき大会時に、「盆カフェ」「新春カフェ」を開催した
- ・土曜・日曜にグリーン・ラソを活用するグループが増え、休日の居場所として充実してきたが、鍵の受け渡しや点検、片付け等、新たな課題も残る
- ・まだまだ存在を知らない、入りにくい等の声も聞こえてくる。多世代が関心の持てる居場所となるよう、新たな試みに挑戦していきたい

事業計画

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 170人 【実施日】 月～金曜日 年間 288日

【受益者】 地域の方 延べ 12,000人

2024年度 目標

出合いをつなげる

常設居場所事業（地域の縁側 ラソプラザ）



【事業名】 特定非営利活動に係る事業：地域ふれあい事業

【実施場所】 地域の縁側 ラソプラザ

事業概要

食を介して、地域の方が気軽に集まれる居場所を提供するとともに、ボランティアとしてどなたでも自分らしく活躍できる場を設ける

事業報告

※（ ）内は前年度比

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 122 人(+41 人)

【実施日】 火～金曜日 年間 204 日(+12 日)

【受益者】 地域の方 延べ 14,454 人(+6,037 人)

【事業収益】 3,576,567 円(+227,821 円)

2023 年度 目標

新たな出会いを力にする！

活動内容・成果・残された課題

- ・専属スタッフを迎えることで、チームワークを整え、課題に向けて一人ひとりが力を発揮できる環境整備を行うことができた
- ・東浦町の生活応援クーポンや、東浦町グルメ提供店としてスタンプラリーに協力し、新たな来場者につながった
- ・地域の方にも参加していただくワークショップを継続し、新たな課題の発掘や、新たなメニューを考えるきっかけとなった
- ・東浦町の地域福祉計画 やくわり部会の企画「みんなでレストラン」を、8月と3月に「キッズ亭 in ラソプラザ」として開催。子どもたちが役割をもって活躍する場を提供すると共に、新たなボランティアさんや社協、福祉課の皆さんとも協働するよい機会となった
- ・「宿題塾」の利用料(100 円)を無料に変更したことで、学校や企業に支援を呼びかける機会となった
- ・「宿題塾」の見守りや、夕方の当番さんなど、子どもの居場所や「宿題塾」に関心を持ち、支えてくださる人材を増やしていきたい

事業計画

【従事者人数】 絆会員・ボランティア 130 人 【実施日】 火～金曜日 年間 198 日

【受益者】 地域の方 延べ 15,000 人

2024 年度 目標

出会いをつなげる

地域の縁側 グリーン・ラソ



夜カフェ

奇数月 第3土曜日 17:30～



フォーク酒場

偶数月 第3土曜日 17:30～



まかないシェフランチ 毎週 火曜日・木曜日 11:30～



ワンデイシェフ方式の
日替わりメニュー



地域の縁側 ラソプラザ



ワークショップ



キッズ亭 in ラソプラザ



宿題塾

毎週 火曜～金曜日 15:30～17:30



はなきんランチ

毎週 金曜日 11:30～

ワンデイシェフ方式の
日替わりメニュー



Ⅱ. その他の事業

物品販売に関する事業

【事業名】 その他の事業：物品販売に関する事業

【実施場所】 地域たすけあいセンター 絆、地域の縁側 グリーン・ラソ、地域の縁側 ラソプラザ等

事業概要

- ・季節の野菜や手作り品の販売、リサイクル品の寄付を通して、活躍できる・楽しめる場を提供する
- ・絆まつり、於大まつり、にじいろフェスタの出店を通して、地域の方と交流を図り、絆を知っていただく

事業報告

※()内は前年度比

【実施日】 月～金曜日（ふれあいマーケット）

【受益者】 地域の方 【事業収益】 826,480 円(▲22,305 円)

2023 年度 目標

- ・物品販売を、地域の方との交流や参加のきっかけづくりに活用し、絆の理解や周知につなげる
- ・コロナ禍で中止していた「絆まつり」を復活させる



活動内容・成果・残された課題

- ・季節の野菜や果物に加え、手作りパンやジャムの販売も好評だった
- ・アイプラザのホールで毎月1回行う「ラソ市」は、手伝いや物品をご寄付くださる人が増え、関心や賑わいと共に、収益も安定してきた
- ・グリーン・ラソで、毎日、無人販売で行う「縁側ラソ市」も、通りすがりの人がのぞいてくださる等、徐々に周知されてきた。特に衣類が好評
- ・まつり委員は一応復活したが、「絆まつり」は再開できなかった。ただ、社会福祉法人愛光園主催の「愛フェス」には参加させていただき、まつりの感覚や交流の楽しさを実感することができた
- ・物品整理が追い付かず、置き場にしている事務所の一角がすぐに雑然となる。物置を購入したが、うまく活用できていないのが最大の課題

事業計画

【実施日】 月～金曜日（ふれあいマーケット）・随時（まつり模擬店）

【受益者】 地域の方

2024 年度 目標

物品整理と絆まつりの復活

Ⅲ. 委員会活動

感染症対策委員会

【委員長】石川 美恵 【委員数】7名 【開催回数】年間5回

2023 年度 目標

コロナウイルスをはじめとした感染症に対し、感染状況の把握とそれに応じた注意喚起を行い、迅速な対策を提言する

活動内容・成果・残された課題

- ・感染者（コロナウイルス・インフルエンザ）や発熱等の情報を集約し、事業所内での情報共有を行った
- ・コロナウイルス5類移行後の対策を検討し、運用を行った
- ・今後はコロナウイルスやインフルエンザ以外の感染症に対しても情報を提供し、感染予防の意識を高める必要がある



2024 年度 目標 【新委員長】山本 浩貴

- ・感染情報を速やかに共有し、適切な対応で感染拡大を防ぐ
- ・感染症に対する意識を高める

ここ de キャッチ委員会

【委員長】中村 希代美 【委員数】6名 【開催回数】年間12回

2023 年度 目標

- ・虐待防止セルフチェックの内容の見直しと精度アップ
- ・身体拘束適正化に基づき、必要な記録・検討の場の整備・ルール作り

活動内容・成果・残された課題

- ・セルフチェックの回答率を上げるため、答えやすいよう設問の見直しを行った
- ・国の指針と照らし合わせ、身体拘束を実施した際の記録やモニタリング等の運用の仕組みを構築し、適切に行っているかの検証を定期的に行っていく

2024 年度 目標 【新委員長】大木 久美子

- ・チェックリストを活用し、基礎的な虐待防止に関する情報を発信し、職員全体の意識の底上げを図る
- ・身体拘束実施に際する書類を整備し、正しく活用できるよう周知をする

チャレンジアップ委員会

【委員長】中村 希代美 【委員数】5名 【開催回数】年間8回

2023年度 目標

- ・より多くの活動者が自己研鑽に取り組めるよう選択肢を提供する

活動内容・成果・残された課題

- ・3年ぶりに対面研修を復活させ、一堂に会して学びを深めることができた
- ・研修開催の周知がうまくできず、研修の参加率が伸びなかった

2024年度 目標 【新委員長】富田 真理子

- ・受けたい！聞きたい!! 身に付けたい研修で参加率アップ

防災委員会

【委員長】亀石 綾穂 【委員数】7名

【開催回数】会議11回, 避難訓練2回, 安否確認訓練12回, 研修2回, 備蓄品の確認1回
危険個所の確認1回, 通所ご利用者の緊急連絡先確認1回

2023年度 目標

防災意識向上の啓発

活動内容・成果・残された課題

- ・BCPの年間計画に沿って活動を行った
- ・簡易トイレ体験、炊き出し体験（アイラップでご飯を炊く）実施
- ・居宅支援 緊急時支援対応度確認
- ・被災することを自分事と考えてもらい、備えてもらいたい

2024年度 目標 【新委員長】望月 真理

災害発生時に対応できるよう、研修参加率を上げる



まつり委員会

【委員長】村瀬 文康 【委員数】6名 【開催回数】2回

2023年度 目標

絆まつり再開！！

活動内容・成果

今年も絆まつりの開催を模索するが断念
11月に愛光園主催の愛フェスに参加



2024年度 目標

今年こそ絆まつりの再開！！

リスク管理委員会

【委員長】富田 真理子 【委員数】8名 【開催回数】年間12回

2023年度 目標

- ・多発項目の中で「忘れ」「間違い」の対策を重点的に取り組む
- ・発生問題のデータベース化と、「ひやりはっと報告書」の提出電子化
- ・標準化項目の洗い出しと標準化の実施（マニュアル作成と教育）

活動内容・成果・残された課題

- ・『ひやりはっと宅急便』の発行（13回発行）により、各部署の事例に対する再発防止策を全体で共有することができた
- ・「ひやりはっと報告書」の報告件数は前年比では減少傾向だったが、意識が薄れてきたのか、積み重ねた対策により問題が減少したのか因果関係は不明である
- ・「ひやりはっと報告書」の件数だけでみると、部署間の提出率に差があり、実態と報告の検証が必要である
- ・「ひやりはっと報告書」の提出電子化については、方法を模索中である

2024年度 目標 【新委員長】小銭 梢、奥田 路得

繰り返し事例の撲滅を図る（対策を活かす）

